

# 3・1独立運動から92年



## 朝鮮半島一帯アジアに平和を！

今日3月1日は、天皇制日本の植民地支配下にあった朝鮮半島の民衆が、独立を求めて起ちあがった「3・1独立運動」が始まった日です。今から92年前の1919年3月1日、ソウルのパゴダ公園に集結した何千人という朝鮮の民衆は、独立宣言を読み上げ、「大韓独立万歳！」のスローガンを叫びながら市街を示威行進しました。

日本の朝鮮に対する侵略・植民地支配がどれほど苛酷なものであったか、それに対して朝鮮の民衆がどれほど多くの犠牲を払いながら独立を求めて闘ってきたのか。3・1独立運動はそれをはっきりと示しています。そうした歴史を改めて振り返ることは、私たちがこれから日本と朝鮮、そして東アジアに平和で友好的な関係を築いていくためには欠かすことのできないことです。

### < ☆ 3・1 独立運動とは >

ソウルで始まった3・1独立運動は、その後、朝鮮半島全土に拡大し、1年間に200万人とも言われる朝鮮民衆が参加したと言われています。ところが、これに非常な危機感を抱いた日本帝国主義一朝鮮総督府は、軍隊や警察などによって非暴力の民衆に一方的な弾圧を加えていきました。その被害はわずか1年間で死者7,645名、負傷者45,552名、被逮捕者49,811名にも上っています。日本軍による住民大量虐殺が複数行われたという記録も残っています。

3・1運動は日本による「韓国併合」が完全な失敗であったことを明らかにしました。力づくで押さえ込もうとするだけでは朝鮮民衆の独立運動を抑えられないことを知った総督府は、これ以後、朝鮮人にも「言論・集会の自由」などがある程度認める「同化政策」を進めることとなります。それはその後、朝鮮民衆

# アジェンダ・プロジェクト京都

〒601-8022

京都市南区東九条北松ノ木町 37-7

Tel&Fax 075-822-5035

URL <http://www3.to/agenda/>

から朝鮮の言葉を奪い、文化を奪い、名前までも奪っていく「民族抹殺政策」＝皇民化政策へとつながっていきました。

日本の植民地支配に反対して起ち上がった 3・1 独立運動は、その後の中国の 5・4 運動やインドの非暴力不服従運動などの反帝国主義闘争にも影響を与えました。しかし、そうしたアジアの民衆の闘いに、日本はさらなる弾圧を加えていったのです。1923 年 9 月の関東大震災下での朝鮮人大虐殺もまた、そういう流れの中にありました。日清戦争から日露戦争をへて「韓国併合」にいたる、いわば「朝鮮植民地化戦争」の時代に、抵抗する朝鮮民衆を大虐殺していった日本は、それを 3・1 や関東大震災でもくりかえし、その後さらに中国・東南アジアへと侵略を拡大させ、2000 万人ものアジア民衆を犠牲にしたのです。

## < ☆ この地を再び戦場にしてはならない! >

1945 年の日本の敗戦によって朝鮮の民衆は植民地支配から解放されました。ところが大国の利害にも翻弄され、今日まで続く南北分断を強いられてきたのです。その中で、日本は韓国とのみ国交をむすび、一貫して朝鮮への敵視政策を行ってきました。戦後 60 年以上もたつのに、過去の植民地支配の清算は何もなされず、未だに日朝間には国交すらないという、世界的に見ても極めて異常な事態が続いているのです。

そうした朝鮮への日本政府の敵視政策は、拉致・核兵器問題以降ますます強まっています。朝鮮高校への無償化手続きの停止措置などは、その露骨な表れと言えるでしょう。それだけでなく、米・韓とともにいたずらに軍事的緊張をあおっていることを見過ごすことはできません。現在も朝鮮の反対を無視して大規模な米韓合同軍事演習が実施されていますが、これと連動する形で、日米の間でも弾道ミサイル防衛対処の特別訓練が、初めて横須賀で行われています。昨年 11 月にも韓国軍の砲撃演習に対抗して朝鮮が延坪島を砲撃して犠牲者を出した事件が起きていますが、軍事的な挑発行為の応酬は一触即発、大規模な衝突に発展しかねません。それを避けるためには、粘り強く「交流と対話」をつみかさね、互いの理解を図るしかありません。

かつてアジアに戦争の惨禍をもたらした日本だからこそ、日朝国交の早期実現をはじめ、朝鮮半島一東アジアに平和を創っていくために積極的に行動する責任があるのではないのでしょうか？（2011 年 3 月 1 日）